【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公開番号】特開2006-82904(P2006-82904A)
【公開日】平成18年3月30日(2006.3.30)
【年通号数】公開・登録公報2006-013
【出願番号】特願2004-267522(P2004-267522)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｈ　37/02　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｈ　37/02
Ｇ０３Ｇ　15/00　５３４

【手続補正書】
【提出日】平成19年9月14日(2007.9.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２】
前記搬送手段が、前記製本手段で製本された前記シート束の１辺を前記裁断手段が裁断した後、該シート束を前記裁断手段から離間させて、該シート束の他の辺を前記裁断手段に対向するように回転させる回転機能を備え、
前記逃げ部が、前記束押え手段が前記シート束を押圧するとき糊付部に最初に対向する位置と、前記回転した前記シート束の糊付部に対向する位置とに形成されていることを特徴とする請求項１に記載のシート処理装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明のシート処理装置は、前記搬送手段が、前記製本手段で製本された前記シート束の１辺を前記裁断手段が裁断した後、該シート束を前記裁断手段から離間させて、該シート束の他の辺を前記裁断手段に対向するように回転させる回転機能を備え、前記逃げ部が、前記束押え手段が前記シート束を押圧するとき糊付部に最初に対向する位置と、前記回転した前記シート束の糊付部に対向する位置とに形成されている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
上記目的を達成するため本発明の画像形成装置は、シートに画像を形成する画像形成手段と、前記画像形成手段によって画像を形成されたシートを製本処理するシート処理装置と、
を備え、前記シート処理装置が、上記いずれか１つのシート処理装置である。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
さらに、複写機の装置本体Ａには、装置本体Ａを制御する制御部９を設けてあり、シート処理装置Ｂには、装置本体Ａの制御部９と、データ、制御信号等の送受信をして、シート処理装置Ｂを制御する中央演算処理装置（以下、「ＣＰＵ」という）２００とを設けてあるが、制御部９とＣＰＵ２００は一体化して、その一体化した制御部を装置本体Ａとシート処理装置との何れか一方に設けて、複写機Ｇの装置本体Ａとシート処理装置Ｂとを制御してもよい。